

注意



必ず守る

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。(弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください)
<https://www.takizumi-denki.com/publics/index/208/>

●付属の梱包材は取り除いて使用してください。

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。火災、感電の原因となることがあります。

●取付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるように注意してください。

転倒・落下してケガをするおそれがあります。



必ず守る

●カバーなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。

◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。



接触禁止

●点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。



水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。

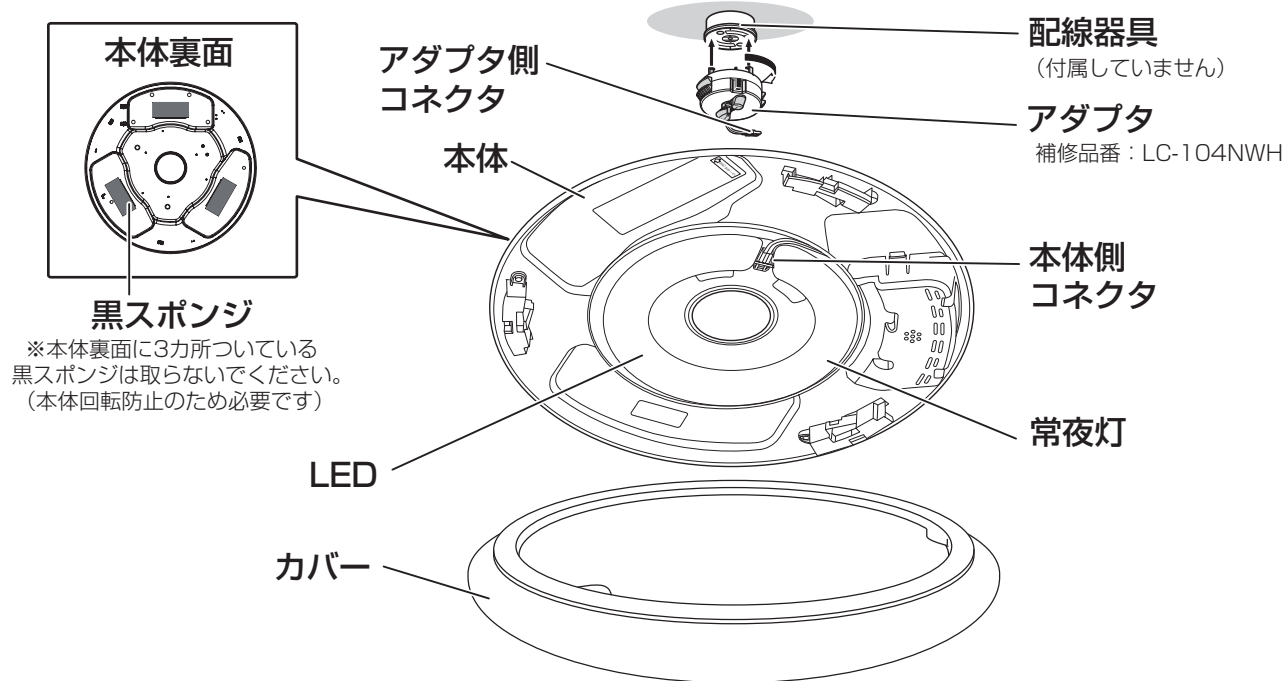
火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●LEDを直視しないでください。目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

取付ける前にまず付属部品をご確認ください



リモコン付属部品



リモコンの便利な使いかた

2台までのリモコン照明器具を操作する 照明器具のチャンネルを変更できます

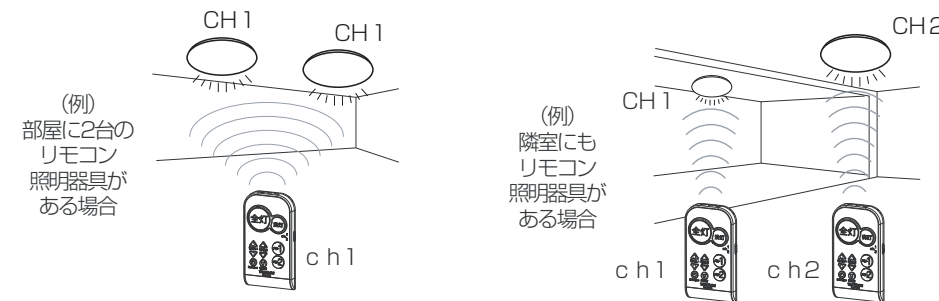
チャンネル設定で
できること

●複数の器具を同時に
点灯できます。

●近くの器具を別々に
点灯できます。

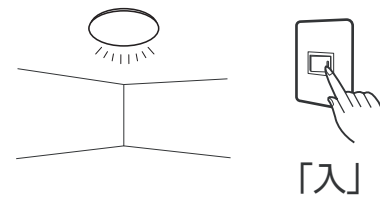
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の本体が操作できます。

また、リモコンで操作できない時は、チャンネル設定が合っていない場合があります。



チャンネルの設定方法

●チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。



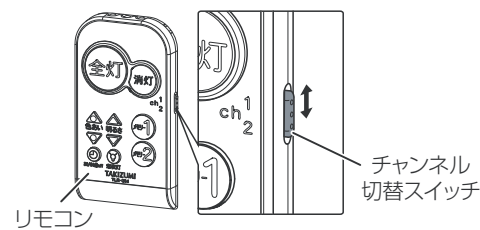
照明器具本体をch2に設定する場合

① チャンネル設定 **ch2** に設定したい器具 (1台) のみを壁スイッチONにする。

照明器具本体をch1に設定する場合

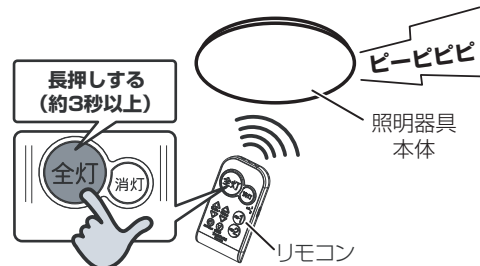
① チャンネル設定 **ch1** に設定したい器具 (1台) のみを壁スイッチONにする。

チャンネル設定を切り替えたい照明器具本体以外も反応して、同時に設定されてしまう場合は壁スイッチOFFにしてから対象器具以外のコネクタを取り外してからチャンネル設定をしてください。



② リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置にする。

② リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置にする。

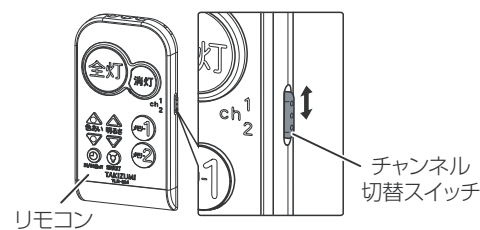


③ 照明器具本体にリモコンを向けながら「全灯ボタン」を約3秒以上、長押しする。

「ピーピーピー」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch1→ch2** へ切り替わります。

③ 照明器具本体にリモコンを向けながら「全灯ボタン」を約3秒以上、長押しする。

「ピーピーピー」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch2→ch1** へ切り替わります。



④ リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置に切り替えて使用してください。

照明器具本体のチャンネル設定が **ch2** に切り替わっているためリモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。

④ リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置に切り替えて使用してください。

照明器具本体のチャンネル設定が **ch1** に切り替わっているためリモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。

リモコンは、他のタキズミ製リモコン付照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定の方法はその商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

リモコンで照明器具を操作する

壁スイッチは「入」の状態にしてください。

リモコンのボタンについて

※リモコンなどの付属部品は1年保証です。(乾電池を除く)

全灯ボタン

100%の明るさで点灯します。
●蓄光ボタンが太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
ボタンを長押し(3秒以上)で操作する照明器具のチャンネルを切り替える場合に使用します。
⇒(7ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照)

調光ボタン

明るさを調節します。
調光範囲:100%〜約10%まで

調色ボタン

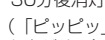
色あいを調節します。
調色範囲:昼光色6700K〜電球色3000K※まで

offタイマーボタン

offタイマーをセットすると30分または60分後に自動消灯を行います。
タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと「ピー」とブザー音が鳴ってタイマーは解除されます。
必要な場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。

押すごとに下記の動作を繰り返します

60分後消灯
(「ピッピッピッ」と音がする)



30分後消灯
(「ピッピッ」と音がする)

消灯ボタン

消灯します。

消灯ボタン操作	点灯状態
1 回押す	すぐに消灯
2 回続けて押す	約30秒後に消灯

チャンネル切替スイッチ

操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
⇒(7ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照)

メモリー点灯ボタン1

メモリー点灯ボタン2

メモリー設定操作をした「明るさと色あい」で点灯します。
ボタンを長押し(2秒以上)で点灯状態を記憶します。
⇒初期設定 ボタン1、ボタン2共に
(明るさ:100% 色あい:昼白色5000K※)
⇒(5ページの点灯状態を調光・調色し記憶させる、記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させるを参照)

常夜灯ボタン

常夜灯を点灯、ボタンを押すたびに明るさを調節します。
●常夜灯は調色できません。
調光範囲:明暗上下5段階⇒初期設定:最大の明るさ(5段階)

※K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	参照ページ
点灯しない。	壁スイッチがOFFになっている。	⇒壁スイッチをONにしてください。 ⇒5ページ・・・
	器具のコネクタが確実に差し込まれていない。	⇒器具のコネクタを確実に接続してください。 ⇒4ページ・・・
リモコンで操作できない。	リモコンと器具のチャンネルが合っていない。	⇒リモコンと器具のチャンネルを合わせてください。 ⇒7ページ・・・
	リモコンの電池が正しく入っていない。	⇒リモコンの電池を正しく入れてください。 ⇒5ページ・・・
	リモコンの電池が消耗している。	⇒リモコンの電池を交換してください。 ⇒5ページ・・・
勝手に消灯する。	offタイマー30分/60分がセットされている。	⇒offタイマー30分/60分を解除してください。 ⇒6ページ・・・
勝手に点灯する。	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある。	⇒壁スイッチをOFFにしてください。 ⇒5ページ・・・ リモコンまたは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替えてください。 ⇒5ページ・・・

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

照明器具を取り付ける

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

1 天井についている配線器具を確認する。

※壁スイッチと併用をおすすめします。

天井に右図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

❗ 右記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(工事には資格が必要です)

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける。

① 位置を合わせる。
アダプタのツメ(2カ所)を配線器具のスライド穴に入れる。

② カチッと音がするまでアダプタを右に回して取り付ける。

確認 ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する。

警告

❗ アダプタは必ず付属のアダプタを使用してください。
付属のアダプタ以外を使用した場合、本体が外れなくなる場合があります。

3 本体を取り付ける。

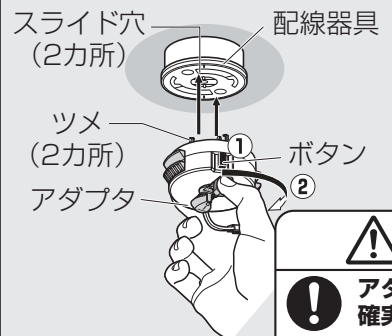
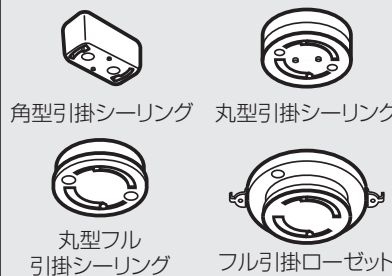
① 本体の穴にアダプタ側コネクタを通す。

② アダプタに本体の穴を合わせて穴のまわりを押し上げる。

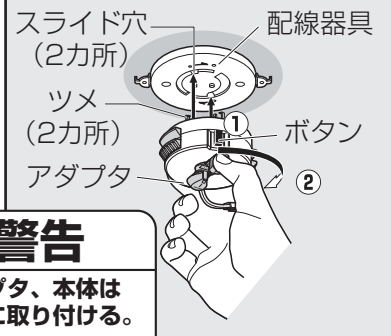
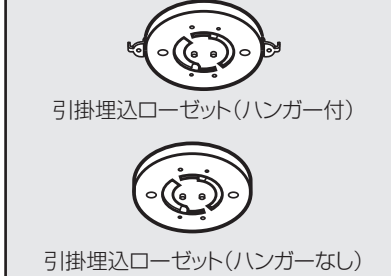
③ アダプタのツメ(白)が見えることを確認する。

④ アダプタのハンドルをロックする。

天井からの出しろが22mmの配線器具



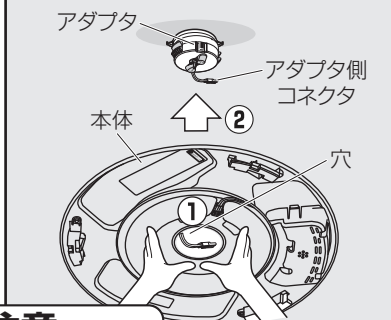
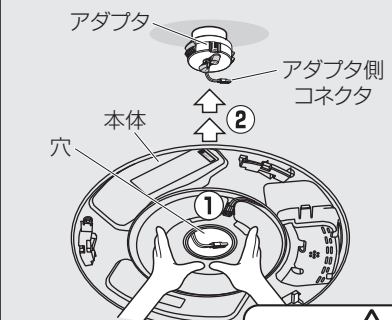
天井からの出しろが11mmの配線器具



警告

❗ アダプタ、本体は確実に取り付ける。
落下してけがのおそれがあります。

※配線器具により本体の取付位置が異なります。
下記を参考に押し上げてください。



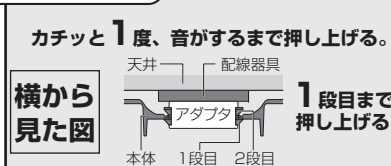
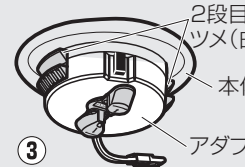
注意

❗ 本体の穴のまわりを押しあげる。



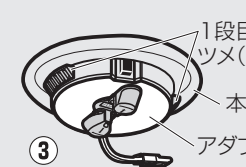
アダプタの本体取付位置

アダプタ2段目のツメ(白)が両方見える。



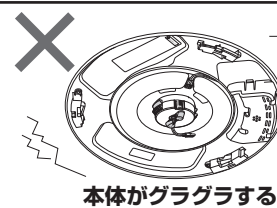
アダプタの本体取付位置

アダプタ1段目のツメ(白)が両方見える。

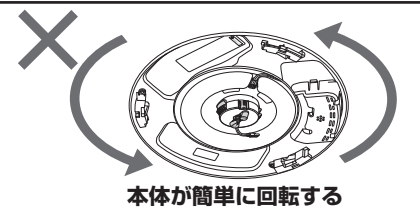


4 本体が正しく取付けられているか確認する。

確認 右図の場合、正しく取付けされていないので手順 図 を再度行なってください。



本体がグラグラする

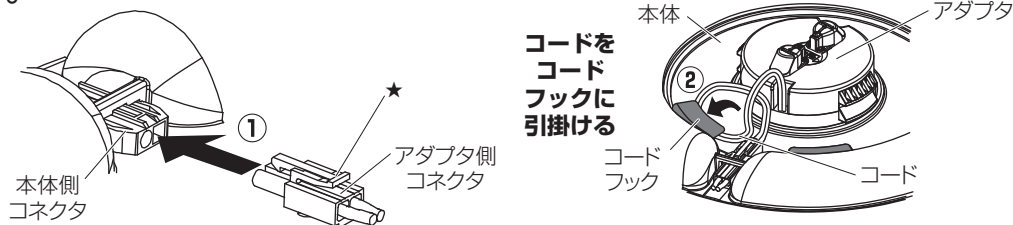


本体が簡単に回転する

(次ページにつづく)

5 コネクタを接続する。

- ① アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込む。
- ② アダプタのコードを本体のコードフックに引掛ける。



確認

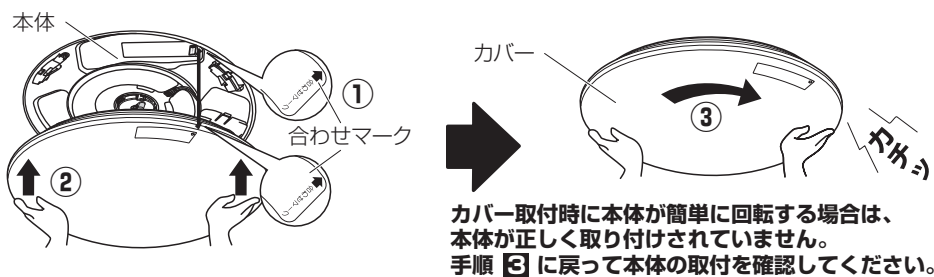
★の部分を押さえずに引っ張って、アダプタ側のコネクタが抜けにくいことを確認してください。

警告

コネクタ接続後は、本体を無理に回転させないでください。器具や配線器具の落下、破損の原因になります。

6 カバーを取付ける。

- ① 本体とカバーの合わせマークを合わせる。
- ② カバーを持ち上げる。
- ③ カチッと音がするまでカバーを右に回す。

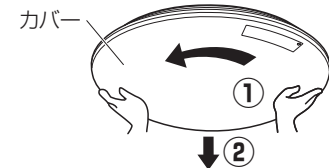


確認

カバーが確実に取付けされていることを確認してください。

取り外しかた

- ① カバーを左に回す。
- ② カバーを外す。

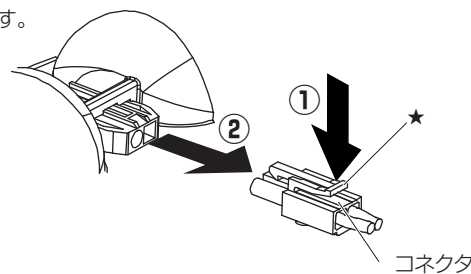


照明器具を取り外す

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

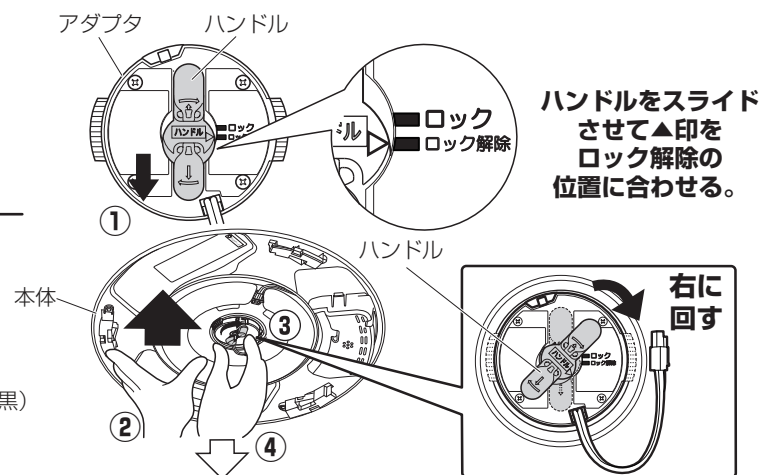
1 コネクタを外す。

- ① コネクタの★の部分を押さえながら
- ② 取り外す。



2 本体を取り外す。

- ① アダプタのロックを解除する。
- ② 本体が落ちないようにしっかりと支えながら
- ③ ハンドルを右に回す。
- ④ 本体をゆっくりと下げて取り外す。



警告

本体が落ちないようにしっかりと支える。落下してけがのおそれがあります。

3 アダプタを外す。

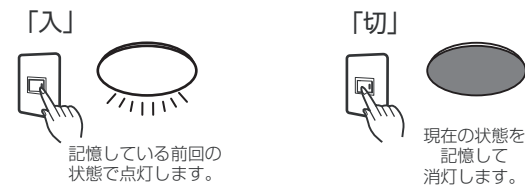
- ① ボタン（黒）を押しながら
- ② 左に回して外す。



あかりをつける・消す

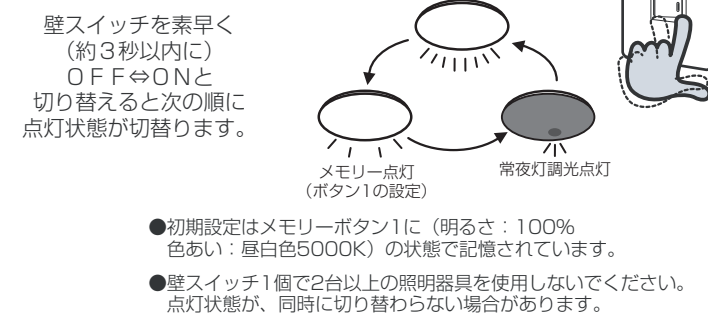
壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する



- ただし、リモコンで「明るさと色あい」を調節した状態で消灯した場合、現在の状態は記憶しません。そのため、次にONしたときは、最後にメモリーボタン1に記憶した「明るさと色あい」で点灯します。
- 消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える



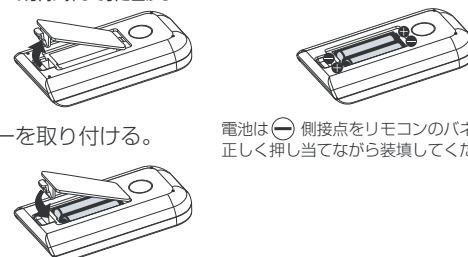
- 初期設定はメモリーボタン1に（明るさ：100% 色あい：昼白色5000K）の状態に記憶されています。
- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

リモコンについて

リモコンで照明器具を操作する 壁スイッチは「入」の状態にしてください。

乾電池の入れかた

- ① 裏側のカバーをはずす。
- ② 電池の⊕⊖を正しく入れる。

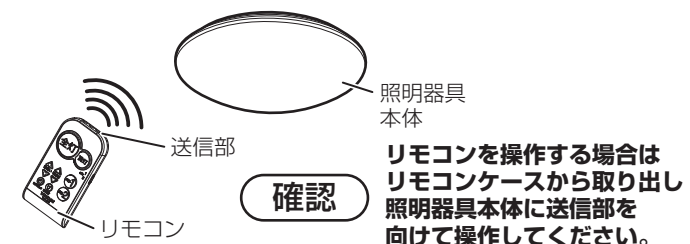


- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池を入れるとき、電池に傷を付けたり、カバーを破らないようにしてください。発熱、破裂、発煙、発火の恐れがあります。
- 交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。（液漏れによる故障防止）

リモコンケースの使いかた

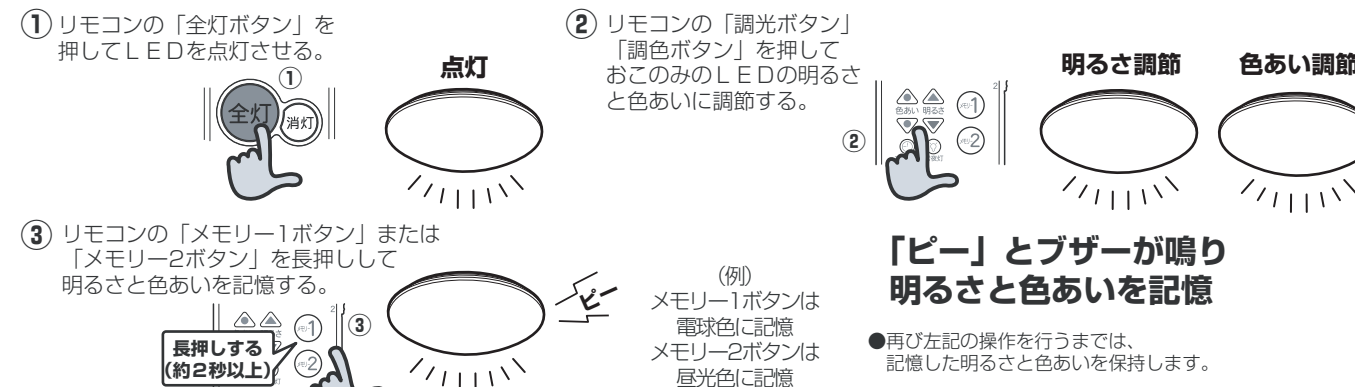
壁などに取付ける場合

テーブルなどに置いて使用する場合



点灯状態を調節し記憶させる

LED点灯中に調光・調色操作を行ない、メモリー点灯ボタンを長押しすることにより、その明るさ、色あいを記憶することができます。



記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させる

記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯することができ、「お気に入りの点灯状態」としてご利用できます。

